

そうさ 匠瑳議会だより

第74号

2024

令和6年

11月27日発行

匠瑳市中学生模擬議会

9月定例会

令和6年9月定例会は、
9月6日に招集され、9月
26日までの会期21日間をも
って開かれた。

初日に市長から報告2件
と議案11件について、提案
理由の説明があった。

11日には、議案に対する
大綱質疑が行われ、その後
各常任委員会に議案等を付
託した。

11日、12日、13日、17日
には、予算決算、総務、文
教福祉の各常任委員会にお

令和5年度匠瑳市一般会計
歳入歳出決算認定など 議案12件、
議員発議案1件を認定・可決

いて、付託された議案等の
詳細な審査を行った。

20日、24日には、議員10
人による市政に対する一般
質問を行った。

26日の最終日には、付託
議案に対する各常任委員長
の審査報告があり、採決の
結果、議案をすべて認定・
可決、陳情1件を継続審査
とした。

また、市長から追加提案
された議案第12号を可決した。
その後、議員から提出さ
れた発議案1件を可決し、
閉会した。



市議会のホームページ
はコチラ

主な内容

定例会の概要	1ページ
委員会の審査	2ページ
一般質問	3～7ページ
中学生模擬議会	8ページ
委員会視察 議員研修	9ページ
審議結果	10ページ

委員会の審査

総務常任委員会

■議案第8号

条例改正（子育て支援推進課の新設）

問 来年4月1日から施行となるが、市民への周知や人事異動も含めて、タイムスケジュールをどう考えているか。

答「総務課長」 市民等へは広報等を通じて、できるだけ早く周知したいと考えている。

問 障害者関係も子育て支援推進課の所管になるのか。それとも従来どおり福祉課になるのか、確認したい。

答「福祉課長」 障害福祉関係の業務については子育て支援推進課ではなく、福祉課障害福祉班で所管していく。

問 子育て支援推進課は妊娠から小学校に上がるまで子どもたちを見るところでよいのか。

答「福祉課長」 児童福祉法の規定で児童は18歳までとなっていることから、原則18歳までは所管することになる。

◆審査結果

付託された議案1件は賛成

全員で原案可決、陳情1件は賛成全員で継続審査。

文教福祉常任委員会

■議案第9号

放課後児童クラブ条例の改正

問 椿海第二児童クラブの定員を50人から35人に改めることについて説明を求める。

答「学校教育課長」 以前は広い部屋を使っていたが、今は校舎の1つの教室を借りており、50人ではかなり狭い。現状椿海第二児童クラブは35人を超える利用はないため、今回改正をする。

問 小学校1年生から何年生までが利用することになっているか。

クラブによって4年生までや3年生までなど利用できる差はあるのか、一律なのか。

答「学校教育課長」 申込期間内に申し込みされた方は1年生から3年生を優先する。

4年生以上でも、就労証明書等の入所基準指数の高い順に定員の上限の範囲で入所の決定をしている。上級生でも

入所している施設はある。

◆審査結果

予算決算常任委員会

■議案第1号

令和5年度一般会計決算

問 ハラスメント防止研修について、市長と副市長は研修を受けているか。

答「市長」 受けていない。この研修はあくまで職員向けに行っている研修だが、自分なりに資料等に目を通すなど、当然ながらハラスメントには注意を払うよう努めている。

問 昨年実施した庁舎耐震診断の結果は。

答「財政課長」 目標とする構造耐震指標（I s 値）0・9に対し、本庁舎3階の南北方向で0・3、本庁舎2階の南北方向で0・4となっている。

問 I s 値0・6未満は地震の振動により倒壊する危険があるとされているが、庁舎整備についての検討は。

答「財政課長」 昨年度の庁舎耐震診断の結果を受け、今後の庁舎等の整備の在り方を検討し始めたところ。

■議案第5号

令和5年度病院事業決算

問 病院事業の収支については、まだ改善の余地もあると思う。危機的な状況であるということを変更して認識していただきたい。

答「市民病院事務局長」 十分危機感を持って取り組んでいかなければいけない。

今後、病院の建て替えを考えるといろんな資金がかかることは想定できるので、経営収益の確保を図って経営改善をしていかなければならない。

問 病院経営について、監査委員の意見を聞きたい。

答「代表監査委員」 累積の赤字損失が約26億円あり、民間の病院だったら債務超過で危ないという状況。非

常に危機的状況と考えてもおかしくないと思う。

■議案第6号

一般会計補正予算

問 病児・病後児保育事業について、年間利用者数や職員数は。

答「福祉課長」 病児・病後児保育の年間利用者数は288名で、職員数は10名となっている。

問 コロナウイルスワクチンの予防接種について、接種は任意または強制、どちらか。

答「健康管理課長」 接種は任意。

◆審査結果
付託された議案7件について、議案第1号は賛成多数、議案第2号から第7号は賛成全員で認定・可決。

9月定例会

市政に関する一般質問

一般質問は、市政全般にわたり、市長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問や提案を行うとともに、報告や説明を求めるものです。

9月定例会では10名の議員が質問に立ちました。



録画閲覧
議会から
はこちら
でできます。



林 明敏議員
(市民クラブ)



災害対策について

問

市役所本庁舎は一部の箇所においては、耐震基準に達していない。庁舎の耐震補強は、実施していない。防災拠点となる庁舎の耐震改修は喫緊の課題である。

今後、庁舎耐震改修工事等について調査していくとの回答があったが、建築から50年経過した建物を改修するという計画がよいか、建て替えるべきがよく検討するべきと思う。

私は合併を推進したいと思っており、かゆいところに手が届かなくなると思うが、現在の少子高齢化の状況を見ると、関東州になって東総香取市という規模の自治体に再編をしていかなければならなくなる。

大規模災害が発生し、災害対策本部が設置される本庁舎が倒壊し、本部を設置することができなくなることも考えられる。

横芝光消防署は、横芝光町が災害対策本部を設置できるような場所を設けたと聞いているが、匝瑳市もそのような方向を考えたほうがよいのではないか。

答

「総務課長」横芝光消防署は、横芝光町の災害対策本部の設置を想定して、会議室を広めに確保

保したと伺っており、消防本部匝瑳消防署の建て替えにおいても、同様の対応について、消防庁舎建設検討委員会等の場を通じて協議してまいりたい。

都市計画について

問

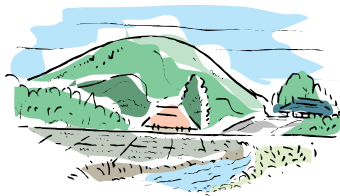
以前、野栄町では苦勞して、主要道路沿いを農振除外にした。そのおかげでヤックス等が出店でき、町民は便利を感じていたが、農振地域に編入してしまった。

これは、行政の手続の間違いであって、過疎となる一因をつくってしまった。主要道路沿いに住宅を建てたいが、建てられない。

今回の立地適正化計画の策定や、都市計画マスタープランの変更がある。残すべき農地は残し、開発すべき農地は開発していかなければならない。主要道路沿線の農振指定の解除を行っていかなければならないと思うが。

答

「市長」立地適正化計画や都市マスタープランと農振地域除外は別の手続であるが、住宅地や適正な土地利用、また逆に農振地域としての優良な土地を守るということは、開発と調和ということとで、今後とも調査・研究していく。



都祭広一議員
(創 真の会)



市民へ新たなまちづくり支援を！

問

市民提案型事業に対して助成を行っているが、応募者が減少傾向にあり、令和5年度は、応募、採択とも1件にとどまっている。

このことから、啓発の仕方、時勢に合った制度の更新が足りないのではないかと考える。

多古町では、同様の事業において、令和5年度9件の申請があり、5件が採択された。採択事業について、継続的な後押しや公開報告会・目標達成評価等を取り入れる等新たな支援の構築が必要ではないか。

答

「市長」他自治体の事例については、現在実施している市民提案型事業助成制度をよりよいものとするため、内容を確認し、参考にしたい。

性の多様性について、慎重な対応を！

問

LGBT理解増進法、千葉県多様性条例の制定など、性の多様性に対して、法整備等がされたが、法も条例も共生・共助が困難になった場合の混乱について、具体的な準備がなされていないと感じている。市としてこの法令について、慎重に対策すべきと考えるが、対応について伺う。

答

「市長」この法令は、性的マイノリティーの方などに対する理解を深め、人格や個性を互いに尊重しながら共生する社会を目指していくという趣旨であると認識をしているが、一方で、この法令によつて差別や偏見が助長されてしまうのではないかという様々な懸念や不安の声が上がっていることも承知している。今後も国や県の動向を注視しながら慎重に対応してまいりたい。

問

教育も踏まえた見解を伺う。
「学校教育課長」議員が危惧するような過剰な教育の心配はない。

答

孤独、孤立を防ぐ対策を！

問

孤独・孤立の原因は、病気、失業、家族との離縁、金銭問題などで様々で、放置すると最悪、自殺に至る非常に危惧すべき社会問題。協議会の設置や調査など、具体的な対策が必要ではないか。

答

「市長」孤独・孤立対策推進法により、地方公共団体は孤独・孤立対策協議会を置くよう努めるものとするものだが、本市を含め、県や近隣市でも協議会の設置には至っていない。
今後、県や近隣市の動向を注視しながら検討してまいりたい。



山崎等議員



水質問題について

問 本市の水道における水源のPFAS調査についての対応は。

答 「市長」 本市の水道は栗山川を水源とし、光浄水場で処理した上水を各戸に配水しており、水質について九十九里地域水道企業団で定期的に調査している。

そのうち、栗山川から取水する原水のPFASについては、年4回調査しており、要監視項目としての指針値を下回っており、健康への悪影響は生じないと考えられる水質であると確認している。

答 「環境生活課長」 現在、市で実施している水質検査の検査項目にPFASは含まれていない。

今後、検査対象項目にPFASを加える等、検査内容について精査を図りPFASに関する取組等について国や県内自治体の状況を調査・研究していく。

問 県議会でもこの調査に関する予算が審議されている。そうした情報を速やかにキャッチして、市民の健康を守ることを願いたい。

答 「環境生活課長」 できる限り検査等の対応ができるように状況を把

握しながら検討してまいりたい。

学校給食事業について

問 本市議会でも給食費の無償化に向けての議論が活発になされ、6月定例会において、給食費完全無償化の意見書を全会一致で提出することになった。

財政面から見ると給食費無償化は厳しい面もあるが、市長の考えは。

答 「市長」 財政面の確保という観点から完全無償化はなかなか困難であるが、子どもたちのことを考え、来年度から一部助成等について予算と併せて検討してまいりたい。

問 給食費の滞納について、今後、徴収の選択肢として裁判所から請求させることを考えていただけないか。

答 「学校教育課長」 法的措置の実施については、近隣市町の例を参考に、今後調査・研究したい。

生活保護について

問 日本で国民健康保険の権利を取得し、高額医療の治療をしてすぐに母国へ帰国してしまう外国人がいるというニュースが新聞やテレビであった。匠瑳市でそのような外国人が増えているが、どのように考えるか。

答 「福祉課長」 現時点で市内の外国人の生活保護の受給者については14名という状況である。



武田光由議員
(公明党)



防災

問 宮城県多賀城市では、平常時と災害時の両方に対応した全国初のシステムを導入した。

情報通信技術の浸透により市民の生活を向上させるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を進める本市として、災害備蓄管理の効率化、発災時の迅速な対応を実現するために、災害備蓄管理のデジタル化は必要な取組であると考えているが。

答 「市長」 民間において様々な管理システムが開発されており、これらのシステムは、平時は賞味期限等の管理や在庫把握の効率化、災害時は備蓄品の使用状況を正確に把握できることから、防災備蓄のデジタル管理は在庫把握の精度向上と災害時の迅速な物資の提供につながると考えている。

問 災害時、本市から被災自治体への支援や、本市と災害協定を締結している団体等への支援要請の手法や手順はどのようになっているか。

答 「市長」 本市が被災自治体へ支援を行う場合は、必要としている物資の種類や数量等の情報を収集した上、本市で物資を調達し、被災自治体へ搬

入する。
本市が支援を要請する場合は、調達したい物資の種類や数量等を協定先へ要請し、支援を受けることとなる。

問 防災備蓄倉庫について、最近段ボールベッドなど大きなものを搬入することが多くなってきた中、現在倉庫内が非常に手狭になっていると思う。必要なものがある場所が分かるような案内板の設置や、また、防災備蓄倉庫を増やしてはどうか。

答 「総務課長」 防災備蓄倉庫には収納棚を設置し、備蓄品の配置を工夫するなど、保管スペースの確保に努めているが、必要な備蓄品の増加により手狭な状況が続いている。
備蓄品の充実と適正管理を図る上で保管スペースの確保は不可欠なので、防災備蓄倉庫の増設を検討したい。

問 東日本大震災のとき、携帯電話がつかず、一般電話で連絡が取れたことが現実にあると思う。県内市町村でも多く導入されている特設公衆電話設置の検討をお願いしたい。

答 「総務課長」 特設公衆電話の避難所への設置について、今後NTT東日本と協議してまいりたい。





内山隼人議員
(Think globally,
Act locally!)



山を切り開く太陽光パネル設置事業を規制する条例を

問

地球環境とエネルギー問題は密接な関係にあり、地球環境を改善させていくには再生可能エネルギーのさらなる普及が必要である。太陽光発電は、発電のために巨大な施設を造る必要がなく、パネル1枚あれば一般庶民でも電気をつくり出せる身近な発電方法である一方、急速に普及・拡大したことで規制や法整備が追いついておらず、よくない事例を聞くこともある。その一つが、山を切り開いた大規模なメガソーラーの建設である。

環境負荷低減のためであるはずが、森を切り開くなどの環境破壊をしており各地で問題になっている。脱炭素先行地域の匝瑳市だからこそ山を切り開く太陽光パネル設置事業を規制する条例が必要であると考え。見解は。

答

「市長」山地を切り開くなどして太陽光発電設備を導入する場合、匝瑳市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例により、土地の埋立て等を行う事業主は土砂が崩落しないように必要な措置を講じなければならぬ。

千葉県林地開発行為等の適正化に

コロナワクチンと死亡数の関係は？

問

日本の死亡数は令和2年に減少、令和3年から急激に増加しており、例年より多く亡くなっている超過死亡数は令和3～5年の3年間で累計45万人以上である。コロナ感染による死亡数が累計10万人なので、コロナ以外の死因で35万人以上の人が多く亡くなっている。

コロナワクチンによる副反応報告の多さや、免疫不全、免疫力低下などの報告も出ていることから、死亡数の増加とワクチンが関係しているのではないかと、言われている。匝瑳市の死亡数も同じ傾向にあるか。

答

「健康管理課長」本市での死亡者数は、平成30年564人、令和元年561人、令和2年557人、令和3年561人、令和4年590人、令和5年597人。ワクチンとの因果関係は不明。



排水機場について

問

豪雨時など、水害が予想されるときにおける排水機場等の運転は、どのような基準と人員体制で行われているか伺う。

答

「野栄総合支所長」運転判断については、大雨等により排水機場内の排水路の水位が1メートルを超えた場合に運転を行う。人員体制については、野栄総合支所職員のうち、野田排水機場に3名、新堀川排水機場に3名を配置し運転業務を行っている。

シニアクラブについて

問

市はシニアクラブとどのように関わり、連携を行っているか伺う。

答

「市長」高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の業務を委託しているほか、多岐にわたる会議に参画し、貴重な御意見をいただいている。新規加入者の増加や若い世代の加入促進に向けた支援を行うとともに、シニアクラブの周知や魅力ある活動を増やすための提案を行っている。

問

シニアクラブが、いきいき百歳



伊東一成議員
(匝風)



体操を実施した場合に補助金を上乗せしてはいいかがか。

答

「高齢者支援課長」現在、近隣市町等で、そういったインセンティブを付与している自治体はないと伺っているが、今後、他自治体の状況を注視しながら調査・研究を行っている。

地域福祉計画について

問

策定中の次期地域福祉計画及び地域福祉活動計画について、現状の方針としてどのような改正を予定しているか伺う。

答

「市長」これまでの計画と異なる内容としては、成年後見制度利用促進計画と再犯防止推進計画についても併せて一体的な策定を予定している。

狂犬病予防について

問

狂犬病予防注射の接種状況について伺う。

答

「環境生活課長」令和5年度における接種頭数は1,263頭で、割合は60・8%。接種率は減少している状況。

問

狂犬病予防注射を接種しなかった場合に罰則はあるのか伺う。

答

「環境生活課長」飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせなかった者に対して20万円以下の罰金が科される場合がある。



近藤 魁人議員
(匠る風)



本市の財政戦略について

匠瑳市の財政健全性を判断する際、どの指標を重視しているか。

問 「財政課長」 財政の健全性は、実質公債費比率や将来負担比率などで評価しており、いずれも国の基準を大きく下回っており、健全な運営がなされていると考える。

令和5年度末の財政調整基金残高は約27億6,600万円で、前年から減少しているものの、適正な水準が維持されているが、経常収支比率は97・1%に上昇しているため、経常収支比率の改善を重視していく。

ふるさと納税について

問 自主財源の確保が今後重要になると思うが、具体的な取組方針は。

答 「財政課長」 ふるさと納税の推進や公共施設へのネーミングライツ付与等を進めることで、自主財源を確保する方針である。

問 匠瑳市のふるさと納税の現状と、返礼品の内容は。

答 「市長」 令和5年度のふるさと納税寄附額は2,083万9,000円。

答 「企画課長」 令和6年4月1日時点で、ふるさと納税の返礼品は137品目に上り、主にお米や野菜、卵などの農産物が多く含まれている。

しかし、返礼品の少なさやPR不足が課題なので、返礼品の充実とPR強化に取り組んでいきたい。

問 ふるさと納税の目標数値は設定されているか。

答 「企画課長」 今年度は3,000万円を目標として取り組んでいる。

問 リピーター等を増やすためにどのような工夫をしているのか。

答 「企画課長」 寄附者には礼状を送付し、引き続きの寄附をお願いしている。また、返礼品の選択肢を広げるため、積極的に新たな返礼品の開拓に取り組んでいる。

問 ふるさと納税による財源を、少子化対策や子育て支援に活用するべきでは。

答 「市長」 ふるさと納税の財源は、産業振興や福祉の充実など選択していた方法を取っている。今後議員からの意見等を踏まえ、有効活用できる方法を研究していきたい。

市民病院について

問 令和5年度の赤字額は1億8,000万円に上っているが、今後の経営改善に向けた対応策はなにか。

答 「市民病院事務局長」 大幅な赤字を受け、令和6年度は特に収益改善に重点を置き、入院患者と外来患者の確保に努めている。



椎名 勝英議員
(日本共産党)



議会決議から6年、学校給食費の一部助成が実現？

問 平成30年12月の学校給食費無償化の議会決議に対して、市長は「大変重く受け止めている」としているが、6年以上経過しても、完全無償化は実現していない。

近隣では完全無償化、一部助成を実施している。少子化対策として、学校給食費の完全無償化を求めたい。学校給食費の食材について、有機米等の購入について聞きたい。

答 「市長」 現状では、財源確保の面から完全無償化は困難だが、来年度からの一部助成等について検討したい。

安全で安心な学校給食の食材の提供を図る一環として、本年10月から毎月1回、有機米を提供する予定である。

飼料米等の作付面積は32%減、来年の飼料米確保に畜産農家不安

問 加工米等の栽培面積等について伺う。

答 「農林水産課長」 令和6年9月現在の本市の水稲作付面積2、

983haで、このうち加工用米293ha、飼料用米299ha、ホイルクロップサイレージ9ha、134名が作付け、面積は昨年度から32%減である。

問 物価高騰により飼料米等の生産農家は大変厳しい状況になる。来年度に向けた取組の方針は。

答 「農林水産課長」 「経営の平準化を図る」という視点で、市では飼料用米の取組を推進してきた。

来年度の取組は、個々の経営形態に合わせて検討いただくため、生産者に可能な限りの情報提供を図りたい。

正職員より多い会計年度任用職員

問 匠瑳市では、正職員と変わらない仕事の会計年度任用職員もあり、行政事務の運営には不可欠と思われる。総務課長は、会計年度任用職員の仕事の内容は正職員より軽微な仕事というが、どのような仕事か。

答 「総務課長」 令和6年4月1日時点で職員数は298人で、13人の常勤職員が不足している。

また、4月1日時点の会計年度任用職員はフルタイムが85人、パートタイムが255人で、9月1日時点では、フルタイムが87人で2人増、パートタイムが251人で4人減となっており、仕事の内容は、単純補助業務や定型的な業務となっている。



田村明美議員
(日本共産党)



埋立て等・土砂等規制条例 の行使について

問 匝瑳市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例は、令和元年6月1日施行以降の相談、行政指導の件数、事例を伺う。また、市行政の今後の方針は。

答 「市長」市では、土砂等の搬入による、土地の埋立てに起因する、土壌及び地下水の汚染、災害の発生を未然に防止するため、同条例に基づき必要な規制及び監視等を行うことで、地域環境の保全と市民の健康・生活の安全を確保するよう努めている。

千葉県条例の適用除外となり、市条例で対応することとなっているが、必要に応じて県と連携を図りたい。

答 「環境生活課長」埋立て等条例の申請許可は、令和2年度1件。市の窓口における埋立て等の申出・問合せは、令和元年度1件、令和2年度4件、令和3年度3件、令和4年度8件、令和5年度3件、令和6年度現在2件。埋立て等の申出・問合せがあった際は、同条例の説明、助言、指導を行っている。

問 市の埋立て等規制条例の施行以前は、吉崎浜に再生土の大規模な

盛土が行われ、強い浜風で飛んでくる再生土の健康被害が心配され、議会でも問題になった。また、飯高地区では、1ha超えの埋立て・盛土が行われ、千葉県に対策を求めたが中止させることはできなかった。後に県は、違反行為として、盛土の完全撤去と現状回復を勧告したが、いまだに撤去されていない。

再生土埋立ては、自然環境破壊となる。また、産廃の不法投棄が隠れた目的である場合が多く、悪徳業者の存在が言われている。そのような事実経過を経て、市の規制条例が制定された。

現在も大規模な森林伐採・埋立て計画の話が市内にあり、行政が早い段階から事実確認を行い、規制条例に則り、不正行為が行われないよう力を尽くすことを求める。

また、市民から、市の埋立て等規制条例が厳しすぎるというご意見があることは認識しているが、条例施行規則第5条第1項の適用除外を検討することで、適切な運用ができるのでは。

答 「環境生活課長」適用除外は、

①農業委員会へ軽微な農地改良の届出がされた事業、②面積が3、000㎡未満の採取土砂等による自ら居住する専用住宅または併用住宅の建築に係るもの、③面積3、000㎡未満の地盤面の高低差が1m未満の埋立て事業、④特に市長が認める事業、である。



荻谷進一議員
(二十一世紀の会)



職場環境問題

問 6月定例会時に管理職の時間外手当をつけてはどうかと言ったがいかがか。

答 「市長」手当がないという話は伺った。

問 管理職だからサービス残業ありという、今までの匝瑳市の管理職の体質を変えないといけないと思う。

答 「市長」管理職の方々には災害等に関しても長時間の拘束等もある中で、検討が必要かと思うが、基本的には管理職手当等で理解をいただいている。

問 管理職手当が労働基準法に準ずるようなことになるかと言ったら問題がある。

答 「市長」一度検討する。

病院問題

問 前期の決算が赤字。赤字の状態では土地が決まろうが、変な誤報が流れ、荻谷は病院反対と言われたらしょうがない。新病院の建設には反対はしない。しかし、赤字状態でゴーサインを出すのは大反対である。

前太田市長政権から黒字化してから事業を進めたいということであった。近隣土地所有者には了解は取ったのか。今の赤字状態で今後事業を進めるのは大反対である。今の財政状況で健全でうまく黒字になっていくのはあり得ない。70床で回していけるというのは相当厳しい問題だ。近隣町、病院と共同でやるのか協議をしたのか。

答 「市長」旭中央病院との連携という中で話を進めている。

問 横芝光の東陽病院の関係とは話していないのか。

答 「市長」基本的には単独で建てるということで話はした。

問 東陽病院に入院など、旧野栄町から行っている人は何割くらいかご存知か。

答 「市長」把握していない。

問 入院の約4割の方は旧野栄町から行っている。東陽病院と話をしないと駄目ではないのか。

答 「市長」単独で進めて行くと考えているので、御理解をいただきたい。

問 単独でと言ったが、大きな問題があつて赤字になったら責任を取る自信はあるのか。

答 「市長」責任という言葉は難しいが、経営が成り立つように病院とも連携を取りながら進めて行きたい。

「匝瑳市中学生模擬議会」が開かれました

11月5日（火）、議場にて「中学生模擬議会」が開かれました。

これは、体験学習を通して「地方政治と自治」を学び、市議会の果たす役割についての認識を深めるものです。

当日は、生徒52人が参加。26人（八一中10人、八二中11人、野栄中5人）が模擬議員を務め、まちづくりへの提案や提言を行いました。

模擬議員の質問と執行部の答弁を要約して紹介します。

1 はやし かんだい 林 寛大さん（野栄中）



問 市内の空家や休耕田を整備し、都市部からの移住を促進してはどうですか。

答 現在の空き家バンク制度をより魅力的な制度となるようブラッシュアップし、併せて都市部の農業に関心のある方々が遊休農地を上手く活用し就農に結びつくような仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えています。

2 すずき あおい 鈴木 葵さん（八一中）



問 通学路の安全のため、カーブミラーや街灯を増設していただけないか。

答 カーブミラーや街灯の増設につきましては、まずはその地域の区長、連絡員などへご相談いただき、その方たちから市へご相談いただきたいと思います。

3 つちや のぞみ 土屋 稀弥さん（八二中）



問 匝瑳市産農作物を活かして更なる発展を目指した取組などを教えてください。

答 地域のブランド米「匝瑳の舞」について、先日も東京駅近くの丸の内特設ブースにおいて期間限定のコラボレーションイベントを開催しました。

4 たかはし あきほ 高橋 明穂さん（野栄中）



問 市内の歩道や車道わきの雑草を定期的に除草する機会を設けてほしいです。

答 除草作業を一斉に行う日を設けることは難しいですが、市に連絡をいただければ現地を確認し、随時対応してまいります。

5 しのだ ゆうせい 篠田 悠聖さん（八一中）



問 市内の中学校で一斉にゴミを集める日を設けるのはいかがでしょうか。

答 学校等で一斉にゴミ集めをするような取組が行われる場合には、市としまして、収集袋の提供や収集ゴミの回収などについて、協力できると考えます。

6 さとう はると 佐藤 大斗さん（八一中）



問 匝瑳市に歴史的価値のある寺社等があるという資料を中学生向けに作成してはいかがでしょうか。

答 歴史的価値のある寺社等につきましては、市ホームページ及び広報そうさ等に掲載してPRしておりますが、ご提案の中学生向けの資料の作成については、今後、関係課と検討してまいりたいと考えております。

7 いのうえ りほ 井上 莉穂さん（八二中）



問 多くの高齢者を支えていくため、介護職等への支援にも力を入れたほうがよいと考えます。

答 市では、国、千葉県、介護サービス事業所等と連携して主に、「市民や学生の皆様への周知・啓発」「介護専門資格の取得支援」「介護職の雇用機会確保」「介護現場で働く方々の負担軽減支援」に取り組んでまいります。

8 しまだ きりゅう 島田 貴琉さん（八二中）



問 市では、銚子連絡道路の活用について、どのように考えていますか。

答 銚子連絡道路をはじめとする広域的な幹線道路ネットワークを活かした地域活性化を目指すとともに、広域的な連携体制をより一層強化し、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

行政視察

総務常任委員会

総務常任委員会では、9月13日（金）の委員会後、ふれあいセンター内に新設される「子育て支援推進課」の配置予定場所を視察しました。



担当課長から説明を受ける委員①



担当課長から説明を受ける委員②

議員研修

令和6年度 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修



▲講師の清水克士氏

10月18日（金）、成田市において、千葉県北総地区11市の市議会による「千葉県北総地

区市議会正副議長会議員研修会」が行われました。現在は、早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員で前大津市議会局長を務めた清水克士氏を講師に、「議員の発言と国家賠償制度、市の求償権」を演題として講演がありました。



▲講演を受講する議員

議員から提出され可決した発議

9月定例会で可決した発議は、次のとおりです。

● 匝瑳市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の制定について

この条例は、土砂等の埋立て等による土壌及び地下

水の汚染並びに災害の発生を未然に防止するため、必要な規制を行うことにより、動植物の生息又は生育環境を保全するとともに、市民の健康又は生活の安全を確保し、もって市民の生活環境を保全することを目的とするものです。

議会日誌

令和6年(2024) 8月▶10月

- 8月 9日 八咫水道企業団議会令和6年8月定例会
- 19日 議会報編集委員会
- 21日 匝瑳市ほか二町環境衛生組合9月定例会
- 22日 令和6年第2回九十九里地域水道企業団理事会
- 28日 東総地区広域市町村圏事務組合議会8月臨時会
- 9月 3日 議会運営委員会
- 6日 9月定例会開会、本会議【議案上程】全員協議会
- 11日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会
- 20日 本会議【一般質問】
- 24日 本会議【一般質問】
- 26日 本会議【採決】、9月定例会閉会
- 10月 3日 東総衛生組合議会10月定例会
- 7日 匝瑳市横芝光町消防組合議会全員協議会
- 匝瑳市横芝光町消防組合議会9月定例会
- 8日 議会報編集委員会
- 9日～10日 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
- 18日 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 23日 後期高齢者医療広域連合議会議会運営委員会
- 後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 25日 東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会

(以上主なもの)

9 月定例会の審議結果

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	増田清巳	近藤魁人	伊東一成	石橋春雄	内山隼人	椎名勝英	都祭広一	増田正義	平山政利	林明敏	山崎光一	行木光由	武田加代	石田悟	佐藤進一	荻谷明美	田村勝一	石田勝一
1	令和5年度市一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2	令和5年度市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和5年度市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和5年度市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和5年度市病院事業決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和6年度市一般会計補正予算（第3号）について		原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和6年度市介護保険特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	令和6年度市一般会計補正予算（第4号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号	市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の制定について		原案可決	○	○	○	欠	×	○	○	○	議	×	欠	○	○	○	○	○	×	○

※「議」議長は、採決に加わりません。
 ○賛成
 ×反対
 欠は採決時、欠席
 退は退席
 除は除斥

編集後記
 「そうだ！京都に行こう」のCMに誘われて、総本山智積院の回向法要に行き、「どうかみなさんが幸せになりますように」と、今は亡き人々も喜んでくれますようお願いする旅に参加しました。さて、今号は11月上旬に開催されました「市中学生模擬議

会」を掲載しています。たちからは、様々な分野についての質問や提案があり、中には大人顔負けの鋭い質問もあったとのこと。私たちも中学生に負けないよう、議会だよりをはじめ、しっかりと議員活動が市民のみなさんの目に届く活動を行ってまいります。

委員長 石橋 春雄
 副委員長 山崎 等
 委員 武田 光由
 委員 都祭 広一
 委員 増田 正義
 委員 行木 光一
 委員 平山 政利

令和6年 12月定例会の予定						
(11月29日～12月16日 会期18日間 開会時間午前10時)						
日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29 開会	30
12/1	2 質疑調整のため休会	3 質疑調整のため休会	4 大綱質疑・予算決算・常任委員会	5 総務常任委員会	6 文教福祉常任委員会	7
8	9 産業建設常任委員会	10 質問調整のため休会	11 一般質問	12	13 総合調整のため休会	14
15	16 閉会	17	18	19	20	21

※日程は変更となる場合があります。
 日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479 (73) 0099

市議会 インターネット中継 ぜひ、ご活用ください！

市議会ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。
 市議会を傍聴に来られない方などは、ぜひご覧ください。



市議会 議会中継 検索